

# 東京スカイツリーと下町見物

## 1. はじめに

11月22日、町内会(東京都練馬区豊玉第1町会)主催の標記のバスツアーに家内と参加した。東京見物は、就職直後に母親が上京した時、ハトバスで見物して以来50年振りである。見物対象がスカイツリーとあって、バスの49座席満席で、何時もの如く女性が90%占めていた。

見物コースは、国会議事堂→富岡八幡宮→深川不動堂→昼食→東京都埋立地→隅田川遊覧船である。国会議事堂は、地元出身の国会議員と記念写真を撮るために立ち寄った。途中、東京駅周辺、皇居、日比谷公園の手入れが行き届き、紅葉が見頃だった。

## 2. 富岡八幡宮

昭和20年3月18日、昭和天皇が富岡八幡宮の境内から、見渡す限り焼野原と化した深川をご覧になられ、言葉に言い尽くせないものを拝察した・・・と富岡八幡宮の記事を拝読。その日から、67年の歳月が流れ、深川の再生の力により日本の伝統文化が町振興の連合渡御に受け継がれてきた。

昨秋、金毘羅神社に参拝したが、今年も町内会で神仏殿に参拝し、心を清めることが出来た。神興連合渡御は、2体安置されており、鳳凰の目には4カラットのダイヤモンドがはめられていた。



国会議事堂



富岡八幡宮



安置されている神興連合渡御

## 3. 深川不動宮

町民文化が花開いた江戸中期、元禄年間是不動尊信仰が広まり、お不動様出開帳の始まりである。深川不動堂は、成田山から総勢300人の行列が江戸まで1週間余りかけて、ご本尊様に奉持された。内仏殿には、おねがい不動尊、祈りの回廊、七福神、宝蔵大日堂を始め、数々の祈りの間があり、関東に住んで50年になるが、江東区富岡に京都、奈良を思い出させる仏像が存在していたことに驚き、思わず合掌した。

境内には、横綱力士碑が中曽根康弘総理大臣、鈴木一俊東京都知事が協賛した石碑が目をつけた。石碑には、横綱朝青竜関に続いて横綱白鵬関まで刻まれているが、近く横綱日馬富士関も登場するだろう。



深川不動堂



横綱力士碑



協賛者

## 4. 東京スカイツリー

今、話題中のスカイツリーは、東京タワー333mに対し2倍の634mと高く、18~55mmの広角レンズで4F庭フロアから全姿を収めるのに厳しい。

上り(行き)は、1F→4F→エレベーターかエスカレーターで上がり4F→350mの展望台までエレベーターで上る。上る速度は、最高時600m/minだった。更に、上るにはフロア350→フロア445、フロア345→フロア450に上がる。私達は、時間の関係からフロア350まで上って下りた。

下り(帰り)は、フロア450→フロア350、フロア340→5F、5F→エレベーターかエスカレーターで1Fに続く。上りも下りも1Fに設計すれば良いと思うが、多分3Fと4Fの商業施設で買物をさせる狙いがあるのだろうか？

4Fの庭に出て、頂上のスカイツリー全姿を撮るのが難しいので、スカイツリーから屋外に出て、東武橋か

ら撮った。あいにく曇天だったので、フロア 350 から都内の景色がボヤけ遠くまで見えなかったのが残念だった。下り(帰り)のフロア 340 の高さから、地上を見るのぞき窓があり、そこから見ると 340m の高さは怖かった。スカイツリーの構造体は、パイプ構成で組立てられており、風圧、地震に最も強く安全性だと思った。



屋外の東武橋から見る



フロア 350 から都心を見る/川は隅田川



フロア 340 から地上を見る

商業施設は、1F お土産店と名産品店、2F 売店、3F レストランなどである。商品群は、子供向けと若者志向になっており、高級感の品は見当たらなかった。

総工費は、650 億円(東京タワー30 億円)と聞いたが安いと感じた。室内外の建材を詳しく調査分析すると、高級建材でなく安価建材が使用されていた。

一方、相変わらず見物客が多く、上り(行き)と下り(帰り)のエレベーター待ちは約 30 分と賑わっていた。

昼食は、深川の料亭「三州家」で深川のあさりどんぶりを食べた。普通、深川のあさり飯は、あさりをご飯の中に煮込み炊きするが、同店ではあせりを卵で溶かした品で、評判が高く美味しかった。

## 5. 隅田川の遊覧船

深川から日の出桟橋(新橋)に向かう途中、東京ゲートブリッジを通過して、東京都の埋立地を見ながら、地図を増加させている土地を直視した。同ブリッジに差掛った左手に岡本綾子プロが設計したゴルフ場があった。現在も埋立地は続行しているが、ゴルフ場に続いて緑地公園になるようだ。



東京ゲートブリッジから見えたGF場



日の出桟橋からの東京湾



東京卸市場

日の出桟橋から浅草吾妻橋まで遊覧船に乗った。途中、都内の高層ビルを見ながら西にゲートブリッジ、東に清洲橋の向こうのスカイツリー、人目を引くアサヒビールのビルとスカイツリーなど鑑賞しながら 40 分程遊覧船からカメラで楽しんだ。



ゲートブリッジ



清洲橋とスカイツリー



アサヒビールビルとスカイツリー

町内会で、個人的に会長、副会長と親しくしているので、2人から誘われ参加したが、日頃は自宅に居ない私は殆ど顔見知りの方が居なかった。でも、カメラを持参していたから、景色をバックに人物写真を頼まれ、皆さんと会話が出来、楽しい1日を過ごすことが出来た。家内は、体操や買物が一緒の方と行動を共にし、友好関係が深まったと喜んでいる。

PS：見物コースや見学先の案内書が無かったので、記事に間違いがあるかも知れませんがお許し下さい。

2012 年 11 月 23 日 横林寛昉